「ひとが人として認めあい、ともに育つ地域社会」

第９号
男女共同参画広報紙

は～とふる日光

男女共同参画！「ビデオを見て座談会」

聞いてみました!!

子どものホンネ 大人のホンネ

今回の第９号は、新たな編集メンバーでの出発となりました。第１回の編集会議で男女共同参画啓発ビデオを見ましたが、とても良い内容だったので、市民の方にも見てもらいたくて、今回「ビデオを見て座談会」を行いました。

多くの方にご参加いただき、「男女共同参画」を考えていただけたのではないかと思います。

今年もお待ちしています「男女共同参画推進事業者（市民団体など）表彰」

男女が共に働きやすい職場　募集！

例えば・・

○男性が育児休暇を取っている！
○保育所がある！
○社員が介護休暇を取っている！
○ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を大切にしている！
○女性ばかりの職場に男性を採用した！
○男性ばかりの職場に女性を採用した！
○その他、様々な取組みについて、表彰の対象としています。

表彰に該当すると・・

○毎年の男女共同参画フォーラムの席上で表彰します。
○市のホームページや男女共同参画広報紙に掲載します。

事業所のイメージアップにつながります！

まずは、右の問合せ先までご連絡ください☞

【問合せ先】
日光市　健康福祉部　人権・男女共同参画課
電　話　0288－21－5148
ＦＡＸ　0288－21－5105
E-mail　jinken-danjo@city.nikko.lg.jp

開設しました
「日光市配偶者暴力相談支援センター」

電話相談窓口は・・

女性相談ほっとライン！

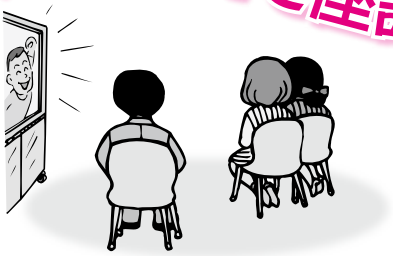
☎ 0288-30-4140

一人で悩ます、お気軽にお電話ください。

女性相談員が、女性のみなさんのいろいろな相談に応じます。
相談は無料。秘密は厳守します。
～家庭や健康のこと、仕事のこと、人間関係のことなど～

電話相談受付時間　平日８：30～17：15（休日・祝日を除きます）

ビデオを見て座談会

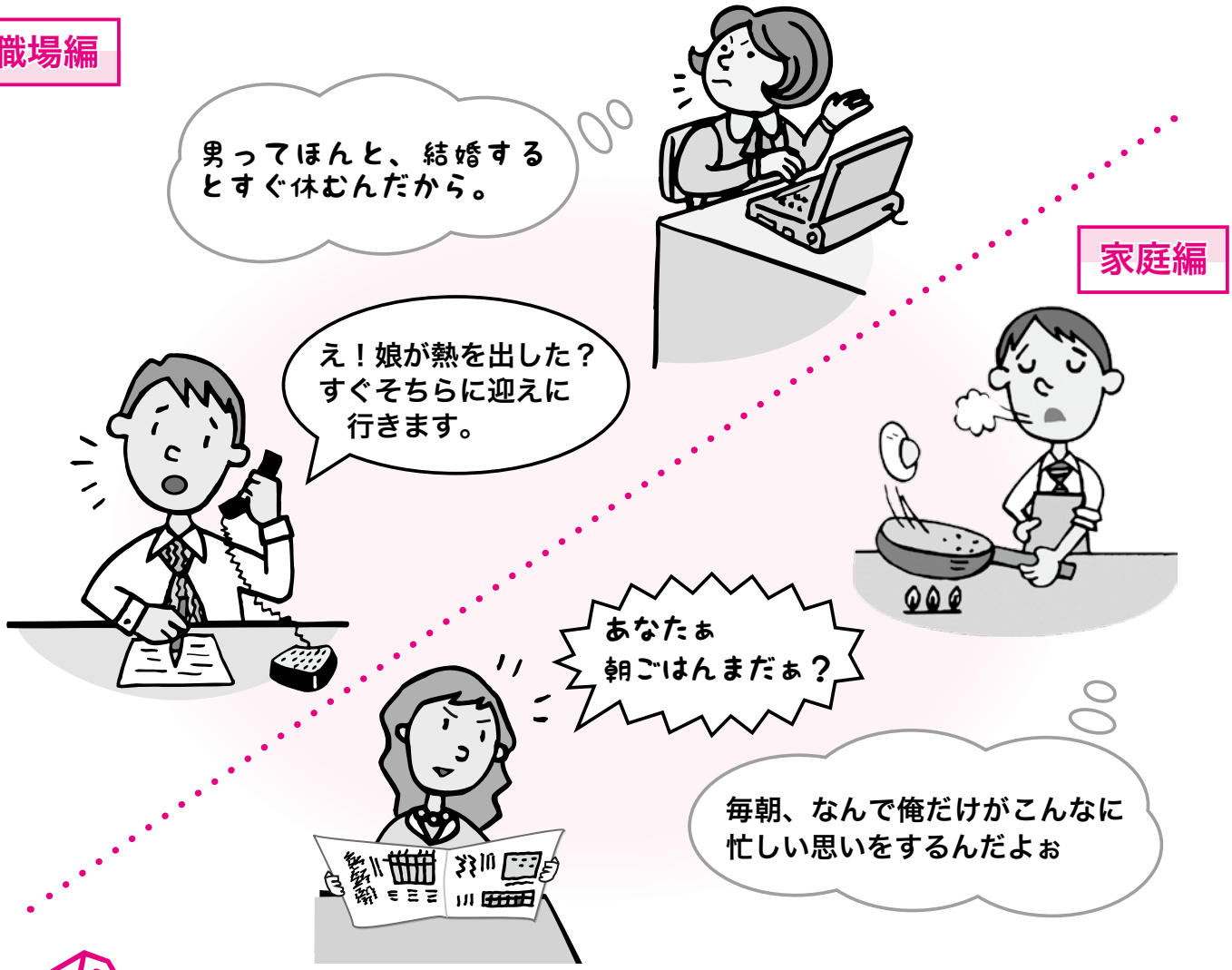


市民のみなさんに、「男女共同参画の啓発ビデオ」を見てもらい、その後、大人と子どもに分かれて座談会を行いました。

ビデオの内容は、「職場でのやりとり」と「家庭でのやりとり」の一般的に見られる男女の立場を逆転したものです。

「職場編」の内容は、女性の上司に男性の部下が「結婚します」と報告すると、上司が「会社はいつ辞めるの？」というような、男性は結婚すると仕事を辞めるのがあたりまえ？…という設定のビデオです。

「家庭編」の内容は、女性がスーツ姿でテーブルに座り、「あなたぁ朝ごはんまだぁ」と言っているそばで、スーツにエプロン姿の男性が、洗濯等忙しそうにしている設定のビデオです。



今回の座談会は、今市地域、日光・足尾地域、藤原・栗山地域の３ヶ所で行いました。それぞれで出た「子どものホンネ・大人のホンネ」と、座談会前後に同じ項目で行ったアンケート結果を４・５ページでご紹介します。

アンケート結果を見ると、座談会前後で、考えの変わった方もいらっしゃったようです。

「子どものホンネ」

（ビデオの家庭での内容は）ウチと全然違い、見ていて気持ちが悪かった。　（女子）

お父さんは、お母さんがいないときは、ご飯を作ってくれるよ。レパートリーは少ないけど。　（男子）

結婚しても、それまでやっていた仕事は続けたいなあ。（女子）

結婚するなら、家事ができる人がいいなあ。（女子）

お父さんとお母さんみたいな家庭を作りたい。（女子）

将来は、仕事よりも休みの部分を楽しみたい！（男子）

おじいちゃんやおばあちゃんは、男の孫のほうを大切にする・・と感じることがある。（女子）

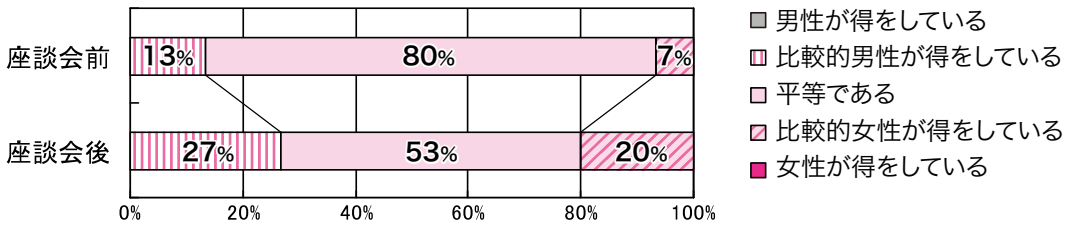
「お兄ちゃんとサッカーをやりたい！」と言ったけど、やらせてもらえなかった。（女子）

気づき

多くの子どもたちがビデオを見た後、あまり違和感を感じていなかったことに驚きました。しかし、おばあちゃんに「お母さんがいないときは、○○ちゃんがやらなきゃダメだんべ」と言われるという女の子、「お兄ちゃんもいるのに、なぜ私が？…といつも疑問に思っている。」という意見もありました。男女共同参画の啓発の難しさを感じました。

Q.（子ども向け）家庭の中で、男女の地位が平等になっていると思いますか？

《子どもが家庭で思うこと》



座談会後に、「平等である」が減り、「男女どちらかが得をしている」と思う割合が、増えています。

「大人のホンネ」

ビデオの内容は、女性の気持ちを代弁してくれたようで、見ていて気持ちが良かった。（女性）

ビデオを見て、自分は、妻のことを手助けしていると自負していたが、まだまだだと思った。（男性）

小５の息子の宿題に、「ゴミ捨て」と「雑巾縫い」がある。（女性）

男子トイレに「おむつ替えコーナー」ができてきた。ここ数年でも、どんどん変わってきていると思う。（男性）

共働きなので、家庭では、できるひとが、できることをやっています。（男性）

男性がお茶を入れていると、「私がやらなくちゃ」という意識がまだ根付いている。（女性）

ウチは「男性優遇」。夫はほとんど家事はしない。ただ、それを私は苦にしたことはない。男女だからでなく、得意不得意があると思う。お互いの役割をわかって助け合えば、一人の人間として、生活できる。（女性）

お互いが尊重しあえれば、なんでもうまくいくと思う。（男性）

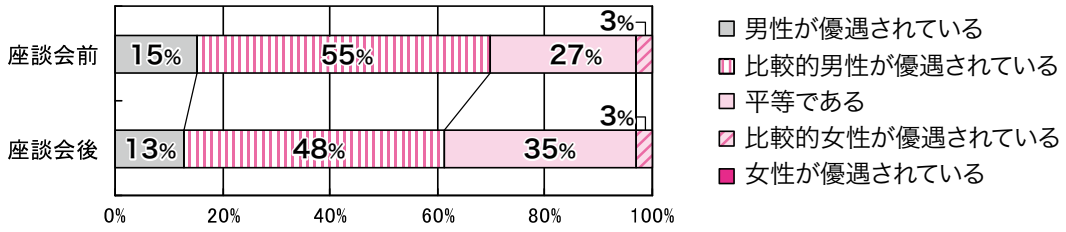
なんでも「平等」ということではなくて、「男らしさ」「女らしさ」は大切だと思う。（女性）

気づき

様々な世代の方に話を伺い、団塊の世代に比べ若い世代の方たちの、男女共同参画意識の高さに驚きました。また高齢の方にも、徐々に意識が浸透しているのかなと思いました。また、「男らしさ・女らしさ」という意見がありますが、これは潜在的に男女を分けて考えており、性別による差別を推し進めてしまいがちです。大切なのは「自分らしさ」ではないかと思います。

Q.（大人向け）家庭の中で、男女の地位が平等になっていると思いますか？

《大人が家庭で思うこと》



子どもとは逆に、「男性が優遇」・「比較的男性が優遇」が減り、「平等である」が増えています。

1 日光市ワーク・ライフ・バランスセミナー

小崎　恭弘 氏

ワーク・ライフ・バランス

～これからの時代の男性・女性の生き方～

講　師　小崎（こざき）　恭弘（やすひろ）氏
（神戸常盤大学短期大学部准教授
・ＮＰＯ法人ファザーリング・ジャパン理事）

日　時　平成22年10月19日（火）
開場13：00　　開幕13：30

場　所　中央公民館　中ホール（日光市平ヶ崎）

保育士として、また父親として子育てに関わってきた経験を基に、
子育てについて講演します。

2 日光市児童虐待・ＤＶ防止啓発講演会

佐藤　喜宣 氏

～法医学者が語る 児童虐待とＤＶの真実～

講　師　佐藤（さとう）　喜宣（よしのぶ）氏　（杏林大学教授）

日　時　平成22年11月２日（火）
開場13：00　　開幕13：30

場　所　中央公民館　中ホール（日光市平ヶ崎）

法医学の観点から、家族の関係性をひも解き、悲劇の真相に迫ります。

どちらも・・

入場無料・申込不要

お問合せは、このページ下の（発行）欄までお願いします。

託児があります。

1 は10月12日（火）までに、
2 は10月25日（月）までに、
下記までご連絡ください。

［取材・編集］　石原　浩一　川村　美穂　相田　昌宏　阿部　文子　石岡　崇弘　川口　俊成
神山ヨシエ　斎藤　貴子　平井みゆき　福田　政　脇阪　良枝

平成22年９月24日発行　【編集】日光市男女共同参画社会づくり広報紙編集委員　☆この広報紙は再生紙を使用しています☆
【発行】日光市健康福祉部人権・男女共同参画課　〒321-1292 日光市今市本町1番地　TEL0288-21-5148　E-mail:jinken-danjo@city.nikko.lg.jp